

じんけん へいわ 豊中 通イ言

No. 8
2023.11



人権文化まちづくり講座「非部落民の部落問題」(豊中)



こどもの学び居場所事業でのソーラーLED工作(豊中)



人権擁護委員による豊中まつりでのブース出展



兵庫県伊丹市の西桑津公園までお出かけ(蛍池)

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）
〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7 人権平和センター豊中内
電話：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655
Mail：bwz37306@nifty.com HP：http://toyojin.secret.jp/



ふつうってなに？

メディアが伝える「当たり前」を読み解く

7月15日と22日、庄内公民館にて、NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所から西村寿子さんと田島知之さんをお招きし、人権文化まちづくり講座「ふつうってなに？メディアが伝える『当たり前』を読み解く」を開催しました。

15日の講座では、メディア・リテラシーの基本概念について学んだ後、普段、自分がどのよう



なメディアに接しているかを各グループに分かれて話し合ったり、テレビCMがどのような構成になっているのか、CMの中でどのような考え方や価値観（「女性らしさ」や「男性らしさ」とは、「家族」とはなど）が示されているのか、さらにはなぜそのような考え方や価値観がCMで示されるのかという問いを立てて、グループで話し合いました。

22日の講座では、「子どもとアニメ」をテーマに、アニメの登場人物の「〇〇らしさ」（性別、年齢、人種、身体的特徴など）がどのよ

うに描かれているか、また、暴力シーンはどのように構成されているか、キャラクターやストーリーが提示するものの考え方や価値観がどのように描かれているか、なぜ、そのように描かれているかについて、グループで話し合いました。



2回の講座を通じて、いろいろな人の意見や考えを聞きながら、普段、なにげなく見ていたテレビCMやアニメの映像を分析することで、メディアとの向き合い方やこれまで当たり前だと思っていた価値観などについて改めて問い直す機会になりました。

（とよなか人権文化まちづくり協会）



参加者アンケート紹介

- CMの分析、グループ内でのお話、それぞれのグループの発表、どれも面白く、「いろいろなものの見方があるなあ」と思いました。
- 自分では全く気づけてなかった部分が「ここまであるのか」と、他の参加者の意見から知ることができたのはかなり有意義でした。
- 幼い頃当たり前に見ていた映像の背景にも、いろんな思惑が隠れていることに気がきました。このような映像の感じ方を討論する機会は初めてだったので、すごく面白かったです。

自立をめざす学校 ～西成高校の挑戦～

8月1日、人権平和センター豊中にて、大阪市西成区にある大阪府立西成高等学校校長の山田勝治さんをお招きし、「自立をめざす学校～西成高校の挑戦～」をテーマに人権文化まちづくり講座を開催しました。



山田さんによると、西成高校には貧困家庭の子どものほか、軽度の知的障害や発達障害のある子ども、外国にルーツがある子ども、虐待を受けてきた子ども、ヤングケアラーなど、さまざまな事情や背景のある子どもたちが通っていて、在籍生徒の4割が不登校経験者だそうです。

西成高校では、そんな子どもたちが学校生活を通じて、将来に見通しを持って生きていけるよう、「生活的自立」、「社会的自立」、「職業的自立」といった3つの自立を目標に、「自分をあきらめない（自分を大切に）」、「他人を見下さない（差別しない、排除しない）」といった2つをリスペクトしながら取り組んできたそうで、その結果、2016年は54%だった生徒の学校満足度が2021年にはなんと94%になり、翌年以降もほぼ90%を維持しているとのこと。

また西成高校では、現在、教職員だけではなく、スクールカウンセラーや地域連携コーディネーターのほか、スクールソーシャルワーカーやキャリアコーディネーターなど、地域と連携しながら子どもたちをエンパ



ワメントしていく輪を作ろうとしているとのこと。

子どもたちの成長を地域の人たちとともに見守りながら、子どもたちにとって最も良いことを常に考えていく、子どもたち同士がインクルーシブでフラットな関係であり、自分の意思や意見をきちんと表明できるなど、山田さんによる西成高校が大事にしている教育活動についてのお話をとおして、「勉強を教えたり、成績を上げることだけが学校の役割ではない」と再認識するとともに、子どもたちをエンパワメントするために私たち大人は何をすべきか、あるいは地域として何ができるかについて考える機会になりました。

（とよなか人権文化まちづくり協会）

参加者アンケート紹介

●家庭で、学校で、地域のできること、必要なことについて改めて考えさせられました。自己責任と支援のバランスを取ることは非常に難しい。すべての人が生き生きと暮らせるように自分にできることを探したいです。

●私が知っている公立高校の取り組みとは全然違うことが多く、興味深いお話ばかりでした。子どもを主語にすることはとても大事だと思いました。

部落問題は誰の問題か？

私たちが社会で安心して暮らしていくためには、一定のルールや規範が必要です。しかし、そういったルールや規範はマジョリティと呼ばれる多数派の立場の人たちを中心に作られていることが多く、マイノリティ（社会的少数者）の人たちの存在についてはどうしても見過ごされがちです。また、マイノリティが差別によって不安や生きづらさなどの困難を抱えていたとしても、マジョリティの立場からは、そういったものが（自ら意識して見ようとしなければ）なかなか見えません。そのため、マイノリティの現状についての正しい理解が進まず、「差別がある」のに「ない」かのように扱われてしまうといったことがしばしば起こっています。部落問題についても同様です。



9月29日に開催した人権文化まちづくり講座では、「非部落民の部落問題」をテーマに、関西大学社会学部教授の内田龍史さんから、社会にお

けるマジョリティとマイノリティの関係性や差別がおこるメカニズムとともに、部落問題の現状や課題についてお話いただきました。

お話をとおして、部落問題は「部落の人たちの問題」ではなく、「部落差別を生み出す社会の仕組みの問題である」ということや、「部落の人たちにさまざまな困難を押しつける社会の仕組みを形成してきたのはマジョリティである」ということ、そして「部落問題を解消していくためには、マジョリティとしての非部落民による部落差別撤廃のための行動が必要不可欠である」ということがよく理解できました。

部落差別は昔に比べると見えにくくなってはいるものの、現在も部落の人との恋愛・結婚に関する差別や、部落を避けるといった土地差別が起こっており、インターネット上でも部落問題に対する間違っただ情報が拡散しているということをきちんと理解・認識したうえで、それを一人でも多くの人に伝えていくなど、部落問題の解消に向けた今後の啓発活動につなげていきたいと思います。

（とよなか人権文化まちづくり協会）



写真 DE 紹介

人権平和センター豊中・螢池では、本紙で報告した催し以外にもさまざまな講座や取り組みを実施しています。興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。見学も可能です。



8.9 世代間平和交流会
「平和な世界を想う」



8.18 「ウォーターガン
などを使った水遊び」



9.20 「トークマインド」

資料室 図書のご案内

人権平和センター豊中資料室では、コラムで紹介した内田龍史さんの関連図書やその他の人権図書の貸出し・閲覧を行っています。貸出しを希望される場合は、とよなか人権文化まちづくり協会事務局までお申し出ください。

「非部落民の部落問題」

編集：朝治 武・黒川 みどり・内田 龍史 発行：解放出版社

非部落民（部落出身者ではない）の立場で部落問題に関わった行政・教育・法曹関係者や社会運動関係者、ジャーナリストや作家など、近代以降に活躍した人物について紹介しています。



「部落問題と向きあう若者たち」

編集：内田 龍史 発行：解放出版社

部落出身の若者たちが部落問題とどのように出会い、どのような経験をし、どのようなことを考えているのか、あるいはどのように未来を展望しているのかなど、部落の若者たちの現状について伝えるインタビュー集です。



9. 30 「ホットケーキづくり」



10. 13 「キャリアブリッジ（地域若者サポートステーション）によるボランティア活動」



10. 18 地域交流事業「ほっとス」



10. 21 「ともだちこども園の運動会」

戦争や平和について考える出張展示をおこないました

8月8日～13日と、8月28日～9月3日の期間に、千里文化センター「コラボ」と庄内コラボセンター「ショコラ」にて、本市非核平和都市宣言40周年記念及び平和月間事業として出張展示をおこないました。



この企画は2023年3月から5月まで人権平和センター豊中で開催した戦争遺品を基にした収蔵品展「物語のない人はいない」と、常設展示の「豊中空襲」で構成しました。豊中市と大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室、豊中空襲について考える市民有志「語り継ぐ会」の3者による協働プロジェクトとして企画したものです。

今回の出張展示では、人権平和センターの認知度を高め、来場者や戦争遺品貸出の増加を図る機

会にすると共に、豊中空襲や豊中市に縁やゆかりのある人びとの戦争体験について考え、共有する時間を持つことができるという願いを込めています。

来場者からは、当センターの存在を今回の出張展示で初めて知ったという回答がめだちましたが、「空襲の悲惨さが伝わってきた」「また開催してほしい」などの感想をたくさんいただきました。また幅広い世代の方にご来場いただき、多くの市民の皆さんに改めて平和について考えていただく機会になりました。

(人権平和センター豊中)



虫骨 わくわくルームに遊びにきてね！ 料理

人権平和センター豊中3階のわくわくルームでは、小・中学生の出会いや交流の場としての居場所を提供しています。カードゲームやボードゲーム、卓球といった体を動かす遊びのほか、工作や実験、料理やお菓子づくりなど、いろいろな体験ができます。不登校の子どもが自由に過ごせるフリースペース（月曜～金曜日10時～18時）もありますので、ぜひ、遊びに来てください。



「ホットドッグづくりの様子」



「プラバンづくりの様子」

11月1日～3月31日までの期間は、下記の開設時間になります。
開館日・時間：月曜～金曜日は14時～17時、土曜日と冬休み、春休みは10時～17時（日曜、祝日、年末年始はお休み）
電話：06-6841-5300 メール：bwz37306@nifty.com

主催：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

虫歯 インフォメーション 利用

<p>人権文化まちづくり講座 11月11日(土) ①10時～②14時～</p>	<p>映画「ゆめパのじかん」 会場：人権平和センター豊中 (1日2回上映)</p>	<p>「川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市)」を取り上げたドキュメンタリー映画の上映。定員：各200人(申込不要・先着順)</p>
<p>世界人権宣言75周年 豊中集会 12月8日(金) 18時30分-20時30分</p>	<p>ウトロの歴史に学ぶ平和と人権 お話：金秀煥さん(ウトロ平和祈念館副館長) 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>ウトロ地区(京都府宇治市)の歴史と現状についてのお話をとおして、差別や排除のない共生のまちづくりについて考える。定員：40人(要申込)</p>
<p>じんまち★シネマ 12月9日(土) ①10時～②14時～</p>	<p>映画「戦場のメリークリスマス」 会場：人権平和センター豊中 (1日2回上映)</p>	<p>偶数月の第2土曜日に実施している映画上映会(とよなか人権文化まちづくり協会自主事業)。定員：各100人(申込不要)</p>
<p>人権文化まちづくり講座 12月13日(水) 18時30分-20時30分</p>	<p>ヤマトンチュとして沖縄に向き合う お話：遺骨で基地を作るな！緊急アクション呼びかけ人 会場：人権平和センター螢池(螢池北町2丁目3-1)</p>	<p>米軍基地問題や自衛隊配備など、今、沖縄が抱えている問題に対して、本土で暮らす私たちがどのように向き合うべきかについて考える。定員：60人(先着順)</p>
<p>人権文化まちづくり講座 1月18日(木) 18時30分-20時30分</p>	<p>精神障害の現状と支援～みとい製作所の取り組みから～ お話：松岡洋二さん(みとい製作所理事長) 会場：人権平和センター豊中</p>	<p>精神障害者の生活支援をおこなっている共同作業所「みとい製作所(末広町)」での取り組みをとおして、個人や地域でできる支援について考える。定員：40人(先着順)</p>
<p>じんまち★シネマ 2月10日(土) ①10時～②14時～</p>	<p>映画「道～白磁の人～」 会場：人権平和センター豊中 (1日2回上映)</p>	<p>偶数月の第2土曜日に実施している映画上映会(とよなか人権文化まちづくり協会自主事業)。定員：各100人(申込不要)</p>

自然災害の発生や感染症の拡大などを理由に、事業が延期・中止になる場合があります。ご了承ください。人権文化まちづくり講座の申込みは、(一財)とよなか人権文化まちづくり協会のホームページからも可能です。

困いごとや悩みごと

ひとりでかかえていませんか？

人権平和センター豊中・螢池では、生活、人権、子育て、健康、福祉、進路など、さまざまな相談に対応していくための窓口を開設しています。専門の相談機関にお繋ぎすることも可能ですので、ぜひ、お気軽にご相談ください。※いずれの窓口も年末年始や日曜・祝日はお休みです。

日常生活での不安や困りごとは…

総合生活相談（とよなか人権文化まちづくり協会）

日時：月～金曜日 9時～17時 電話：06-4865-3713

※面接での相談については要予約



これって人権侵害かと思ったら…

人権相談（とよなか人権文化まちづくり協会）

日時：月～金曜日 9時～17時 電話：06-4865-3655

※面接での相談については要予約

育児、健康など子育てに関する相談は…

子育て・健康相談（ともだちこども園）

日時：月～金曜日 9時～17時 電話：06-6841-1314



福祉に関する相談は…

克明社協・福祉なんでも相談（人権平和センター豊中老人憩の家）

日時：第4火曜日 13時30分～16時 電話：06-6841-1340

子どもの進路に関する相談は…

進路・選択支援相談（人権平和センター豊中・螢池）

豊中 日時：月、水、木曜日 17時～19時 電話：06-6841-1313

螢池 日時：火、金曜日 15時～17時 電話：06-6841-5326

※人権平和センター螢池での進路相談は、2023年9月1日～11月30日まで、場所を豊中市役所本庁6階に変えて実施しています。詳細は豊中市教育委員会事務局学校教育課人権教育係（06-6858-2573）までお問合せください。



●あとかき●

表紙の写真（左下）で紹介している「人権擁護委員」とは、法務大臣から委嘱された民間ボランティアです。現在、全国の各市町村で約14,000人の人権擁護委員が配置されており、法務局との連携のもと、市民からの人権に関する相談への対応や、人権侵害に対する課題解決に向けたお手伝い、市民の皆

さんの人権意識の高揚に向けたさまざまな普及啓発活動などを行っています。

右の写真は、豊中市役所にて、来庁者に啓発活動を行った様子を写したものです。（まちづくり協会事務局）

